10.23 沖縄へ大衆行動を！

沖縄全軍労スト防衛十一波連続一行動に決起された全ての労働者　学生市民の諸君！

今こそ沖縄へ本土のベトナムへの道を歩み始めたという事を我々は銘記しなければならない！

十月　日前半時をもって突入した沖縄全軍労ゼネスト百十時間スト以その事を端的に表現している。本土における沖縄闘争の一歩の一歩ずすんでいる。七〇年初頭に向けた大量解雇粉砕闘争は　故に二十五年間日帝の植民地主義的支配の代償として　アジア反革命最前線基地としての立場を強制されてきた。そして沖縄人民はこの状況を本土復帰闘争という反り物の衣裳にまとわされてきた。しかしながらゼネスト前夜の十月十三日の全軍労のみの大規模なデモ・ストは　特に沖縄人民が反り物の衣裳を脱ぎ捨て　永続革命へと転化しはじめたのだ。沖縄人民の闘いは反基地闘争という性格をさらに鮮明にし　特に日本階級闘争の実体化としての軍事基地における闘いであるのだ。現在行われている。今までかって見られなかった米軍の大弾圧、そして全軍労スト部分条件闘争との明確な一線を引いた全軍労の中間主義的立場を許さない革命的労働者の怒りが　更に進行しているのだ。この年代闘争をたたかう者は沖縄で闘っている労働者の五日間の無条件ストライキ闘争を支持し　沖縄基地労働者の闘いを防衛し本土における反戦闘争と結ぶ事をおいてほかにない。沖縄人民の闘いに獲得され、獲得し得る者、その年代階級闘争を断固として担い切る事が出来るのだ。我が反帝武装行動委員会に結集する極東解放革命の戦士たちは　沖縄人民の蜂起の五日間に呼応し　全軍労スト支援闘争に於ける数万の五日間ストライキに於ける数万の五日間ストライキに於ける数万の五日間ストライキに